

令和3年度

第 3 年 次 編 入 学
学 生 募 集 要 項

(畜産科学課程)

帯広畜産大学

【重要】

令和3年度第3年次編入学試験における英語外部試験 (TOEIC Listening & Reading Test) の取扱いについて

令和3年度第3年次編入学試験の「英語」の試験については、TOEIC Listening & Reading Testの公開テスト（以下、「TOEIC L&R」という。）のスコアで評価することを、2019年3月25日付けで本学ホームページにおいて予告しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、令和2年3月～6月に実施予定だった計4回のTOEIC L&Rの中止が決定されたため、この期間に受験を予定していた方たちは令和3年度の編入学試験の出願締切日までにスコアが提出できない状況となっております。

このため「英語」の試験については、令和3年度に限り、下記のように取扱います。

記

1. 「英語」は本学が作成した試験問題を実施し、100点満点で評価する（2.で100点に該当する者以外は全員受験すること）。
2. TOEIC L&Rのスコアを有する者は任意で提出可能とし、650点以上を100点、650点未満はスコア÷6.5で評価する（ただし、有効なスコアは平成30年4月以降に受験したものとする）。
3. 1.と2.の成績のうち、点数の高い方を「英語」の成績とする（2.を提出していない者は1.の成績を「英語」の成績とする）。

目 次

帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程案内	1
1 募集人員（入学定員）	3
2 編入学の時期及び編入学年次	3
3 出願資格	3
4 出願手続	4
5 障がい等のある志願者との事前相談	6
6 入学者選抜方法等	6
7 合格発表	7
8 入学手続	7
9 その他の諸経費について	8
10 修学条件等	8
11 個人情報の取扱いについて	8
◎ 出願書類の提出・問い合わせ先	9
◎ 帯広畜産大学所在地及び交通案内図	10

帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程案内

本学のミッションは、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域および国際社会へ貢献することです。

このような理念・目標のもとに、教育ポリシー（方針）を以下のように定めています。

～帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程の教育ポリシー（方針）～

◎目指すべき人材像

食と農の大切さ、動植物の命の尊さを心得た素養を基礎として、「農場から食卓まで」の幅広い視点で現場に適応できる知識と実践力を有するとともに、地球規模課題解決等の国際的視野を備えたグローバル人材

◎アドミッションポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学は、獣医・農畜産融合の視点から、農場から食卓まで生命・食料・環境を科学し、農畜産の幅広い分野で活躍する実践的な専門職業人を育成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 「農場から食卓まで」の幅広い考え方で現場に適応できる知識と能力を身につけたい人
2. 北海道十勝地域の豊かな自然と風土のもとで、食と農の大切さ、動植物の命の尊さを学びたい人
3. 食や環境などに関する地球規模の社会問題を解決する能力を身につけたい人
4. 農畜産学および獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域について学ぶために必要な基礎学力を身につけている人
5. 自分の意見を持ちつつも、他の多様な意見や価値観を尊重して協力することができる人

◎ディプロマポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の卒業要件単位数を修得し、以下の知識や能力を身につけた学生に学士の学位を授与します。

1. 獣医・農畜産融合の視点から、食料の生産から消費に至る過程についての関心が高く、課題解決に向けて取り組む態度を身につけている。
2. 国際化社会で必要となる見識と基礎的コミュニケーション能力を身につけている。
3. 獣医農畜産の専門教育コースである“ユニット”の専門知識、技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<家畜生産科学ユニット>

- ・家畜の飼養管理、繁殖や改良、乳肉の生産についての専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<環境生態学ユニット>

- ・多様な生物群からなる生態系の仕組み及び農畜産環境とその周囲を取り巻く自然環境に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<食品科学ユニット>

- ・食品の一次機能（栄養成分とエネルギー）、二次機能（おいしさや食感）および三次機能（生体調節や健康）に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<農業経済学ユニット>

- ・農畜産の生産、加工、流通、消費に関わる諸問題の把握や分析に必要な社会科学的な専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<農業環境工学ユニット>

- ・農業農村工学や農業システム工学に基づく先進的農業と環境保全を両立させるための専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

＜植物生産科学ユニット＞

- ・植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から、その環境で育つ作物の生理、生態及び育種に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、農畜産学及び獣医学とこれらに関連する諸学術分野について、以下の点に配慮しながら授業科目を編成し教育を行います。

1. 農畜産学及び獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域に関する幅広い視野と専門性を身につけるための教育を行います。
2. 「農場から食卓まで」の幅広い視野に基づいて、食料生産及び食の安全に関わる授業科目を広く修得できる科目を配置し教育を行います。
3. 低学年では教養と語学力を向上させるための科目及び専門領域への導入的科目を、高学年では専門領域の科目を配置し、修学の積み重ねを重視したアドバンス制教育を行います。
4. 専門教育コースである“ユニット”では、より専門性を高めるための科目を配置します。同時に、生命、食料、環境に関する幅広い知識の修得を目的として、他ユニットの科目も適宜選択可能なシステムを設け、専門性を広げる教育を行います。
5. 高学年で分属する研究室では、卒業研究や卒業研究ゼミナールを通して専門知識と技術の修得とともに、総合的思考力・応用力を身につけるための教育を行います。
6. 学生のキャリアを育てるための科目を配置し、卒業後の進路を配慮した教育を行います。
7. 国際教育関連の科目群を配置し、国際社会での活動に対応できるための教育を行います。

＜家畜生産科学ユニット＞

- ・家畜の飼養管理、繁殖や改良、乳肉の生産についての知識と技術を修得するための授業科目を配置します。

＜環境生態学ユニット＞

- ・多様な生物群からなる生態系の仕組みを学ぶための教育科目及び農畜産環境とその周囲を取り巻く自然環境を理解するための授業科目を配置します。

＜食品科学ユニット＞

- ・食品の一次機能（栄養成分とエネルギー）、二次機能（おいしさや食感）および三次機能（生体調節や健康）を学ぶための授業科目を配置します。

＜農業経済学ユニット＞

- ・農畜産の生産、加工、流通、消費に関わる諸問題を、経済学や経営学を主とする社会科学的なものの見方や調査に基づき的確に把握するための授業科目を配置します。

＜農業環境工学ユニット＞

- ・農業農村工学や農業システム工学に基づく先進的農業と環境保全を両立させるために必要な技術体系を学ぶための授業科目を配置します。

＜植物生産科学ユニット＞

- ・植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から、その環境で育つ作物の生理、生態及び育種を総合的に理解するための授業科目を配置します。

1 募集人員（入学定員）

学 部 名	課 程 名	専門教育ユニット	募集人員
畜産学部	畜産科学課程	家畜生産科学ユニット	10人
		環境生態学ユニット	
		食品科学ユニット	
		農業経済学ユニット	
		農業環境工学ユニット	
		植物生産科学ユニット	

2 編入学の時期及び編入学年次

- (1) 編入学の時期
令和3年4月1日
- (2) 編入学年次
第3年次

3 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者又は令和3年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学士の学位を有する者又は令和3年3月までに取得見込みの者
- (3) 大学に、令和3年3月までに2年以上在学し62単位以上を修得している者又は修得見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること）を満たすものを修了した者又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (5) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科のうち、修業年限2年以上で、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (7) 前各号に定めるもののほか、法令等で大学の第3年次に編入学できると定められた者
- (8) 外国において前(1)、(2)、(3)の各号に相当する資格を得たと認められる者

※ 上記(8)で出願しようとする者は、必ず7月27日（月）までに入試・教務課入学試験係に連絡のうえ、事前確認を行ってください。連絡先は9ページに記載してあります。

4 出願手続

(1) 出願書類等

① 出願書類

出 願 書 類		摘 要
1	入 学 志 願 票 写 真 票 受 験 票	<ul style="list-style-type: none"> ・ *印欄以外の太線の枠内はすべて記入してください。 ・ 写真（縦 4 cm 横 3 cm）は、出願前 3 か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に氏名を記入の上、写真票の所定の欄に貼ってください（受験時に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡を着用して撮影したものにしてください）。
2	志 望 理 由 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 編入学を志望する理由を 800 字以内で記入してください。
3	卒 業 証 明 書 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業証明書、卒業見込証明書又は在学期間を証明する書類 ・ 出願資格(2)に該当する者で、学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者は学位授与証明書 ・ 出願資格(4)に該当する者は、専修学校が発行する「修業年限が 2 年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上又は 62 単位以上の専門課程を修了したこと又は修了見込であること」を証明する書類又は「専門士の称号を取得したこと又は取得見込みであること」を証明する書類 ・ 出願資格(5)に該当する者は、学校が発行する「当該専攻科が、修業年限 2 年以上で、その他文部科学大臣の定める基準を満たしている」ことを証明する書類
4	成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身学校等の長が作成し、厳封してください。 ・ 出願資格の(3)に該当する者で、令和 3 年 3 月までに 62 単位以上を修得見込みの者については、出願時において修得見込みの科目名・単位数がわかる証明書も同封してください（成績証明書に「履修中」「修得見込」等の記載がある場合は成績証明書のみで可）。
5	あ て 名 票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記し、提出してください。
6	受 験 票 送 付 用 封 筒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学所定の封筒（小）に郵便番号・住所・氏名を明記し、374 円分の切手を貼ったものを提出してください。
7	TOEIC Listening & Reading 公式認定証	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年 4 月 1 日以降に受験したスコアを有する者は原本を提出してください（該当者のみ）。

出願上の注意事項

- ア) 提出された出願書類は、返還することができません。
- イ) 出願書類の記入にあたっては、黒色ボールペン又は黒色インクを使用し、漢字は楷書で、数字は算用数字ではっきりと記入してください。
- ウ) 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消して訂正してください（訂正印は不要）。
- エ) **志望専門教育ユニットは、必ず第 5 志望までの順位を記入してください。**
- オ) **出願後は、志望専門教育ユニットの順位の変更は認められません。**
- カ) 入学志願票の「出願者の連絡先」、「父母等の連絡先」及びあて名票の「合格通知・入学手続案内送付先」等について変更があった場合は、直ちに電話、電子メール、郵便等で連絡してください。

② 検定料 30,000 円

本学所定の払込取扱票により、払込期間内に郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。払い込み手数料は、入学志願者本人の負担となります。

払い込み後、「振替払込受付証明書（お客さま用）」（日附印が押印されたもの）を入学志願票裏面の所定の場所に貼って提出してください。

なお、郵便局・ゆうちょ銀行の窓口取扱いは、通常平日は16時まで、土日・祝日は休業ですのでご注意ください。

必ず受付窓口で払い込んでください。ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

※「払込取扱票」の裏面には「ATMでもご利用いただけます」と記載されていますが、帯広畜産大学入学試験ではATMで払い込んだものは使用できません。

検定料払込期間：令和2年7月27日（月）～令和2年8月12日（水）

注1： 受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

ア) 出願しなかった場合

イ) 出願書類が受理されなかった場合

ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 入試・教務課入学試験係 TEL 0155-49-5321

注2： 検定料が払い込まれていない場合や「振替払込受付証明書」に郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押印されていない場合は出願を受理できません。

(2) 出願期間 **令和2年8月3日（月）～令和2年8月12日（水）（最終日17時必着）**

(3) 出願方法

出願書類を一括して本学所定の封筒に入れて持参又は郵送してください。持参の場合の受付時間は8時30分から17時までです。ただし、土日・祝日は受付を行っていません。郵送の場合は必ず「書留速達」としてください。

なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理できませんので、郵便事情等を考慮して余裕をもって発送してください。ただし、8月11日（火）以前の消印（日本国内の郵便の消印に限る）のある書留速達郵便に限り、8月12日（水）以降に到着した場合でも受理します。

(4) 出願書類等の提出先 9ページに記載してあります。

5 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に本学と相談を行ってください。

(1) 事前相談を必要とする障がい等の程度

区分	特別な配慮の対象となる者
① 視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 両眼による視野について強度視野障がいのある者 上記以外の視覚障がい者
② 聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 上記以外の聴覚障がい者
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障がい著しい者 上記以外の肢体不自由者
④ 病 弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とする者
⑥ そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で特別な配慮を必要とする者

注：日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください。

(2) 相談の期限

令和2年8月12日（水）

注：相談の期限後の不慮の事故その他特別な理由により、事前相談が必要になった場合は、直ちに9ページの連絡先に申し出てください。

なお、必要な場合には、本学において志願者又はその内容を説明し得る出身学校関係者等との面談を行うこともあります。事前相談書の様式は本学ホームページの入試情報に掲載しています。

6 入学者選抜方法等

(1) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、本学が実施する小論文（配点200点）、英語（配点100点）と面接（配点200点）の成績及び志望理由書と成績証明書の内容を総合して行います。ただし、英語の評価方法については、表紙の裏面に記載の「令和3年度第3年次編入学試験における英語外部試験（TOEIC Listening & Reading Test）の取扱いについて」を参照のこと。

なお、入試の試験科目（「英語」、「小論文」、「面接」）において著しく成績の低い科目があった場合は、総合点にかかわらず、合格者とならない場合があります。

小論文：特定の課題を与えて1,000字程度の論述を課します。

面 接：複数の面接員による個人面接

(2) 学力検査等の日時・場所

実施期日	時 間	科 目 等	試験場
令和2年9月29日(火)	9:30～11:00 (90分)	小論文	帯広畜産大学
	11:30～12:30 (60分)	英 語	
	13:30～	面 接	

(3) 受験上の注意事項

- ア) 受験の際は、受験票を必ず持参してください。
- イ) 9 時までに試験室に入室してください。なお、試験室へは 8 時 30 分から入室することができます。
- ウ) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- エ) 上靴を持参する必要はありません。
- オ) 試験室内での携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤー等の電子機器の使用は認められませんので、入室後は電源を切り、かばん等に入れて身につけないでください。
- カ) 試験中の筆記用具等の貸し借り及び下敷き・色鉛筆の使用は許可しません。
- キ) 試験時間中は受験票、筆記用具（ボールペンは不可）、時計（計時機能だけのもの）、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの）、目薬のほかは机の上に置くことはできません。上記以外のものは、足元に置いてください。
- ク) 試験室ではすべて監督者の指示に従ってください。また、もし不正行為があった場合には、受験結果をすべて無効とし、引き続いて受験することは許可しません。
- ケ) 試験中、質問がある場合又は具合が悪くなったときは、手をあげて監督者がそばに来てから申し出てください。
- コ) 昼食は、できる限り持参することが望ましいですが、持参できない場合は、大学生協の食堂及び売店を利用できます。
- サ) 令和 2 年 9 月 28 日（月）10 時から試験場配置図を受験者入口（10 ページ参照）に掲示しますが、試験場内に入ることはできません。
- シ) 試験当日、付添人は試験場内に入ることはできません。

7 合格発表

- (1) 合格者の受験番号を下記により発表します。

日 時	場 所
令和 2 年 10 月 8 日（木）10 時	総合研究棟 I 号館玄関の掲示板及び本学ホームページ https://www.obihiro.ac.jp/

- (2) 合格者には、合格通知書を「レターパック」で郵送します。
- (3) 電話等による合否の照会には、応じられません。
- (4) 入学手続状況によっては、追加合格を行うことがあります。
追加合格該当者には、令和 2 年 11 月 25 日（水）から、入学志願票に記載された「出願者の連絡先」に電話で連絡します（不在の場合は、「父母等の連絡先」とします）。

8 入学手続

入学試験に合格した者には、入学手続に必要な書類等を合格通知書とともに送付します。入学手続期限内に入学手続が完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取扱います。

- (1) 入学手続期間

令和 2 年 11 月 16 日（月）～令和 2 年 11 月 24 日（火）（最終日 17 時必着）

- (2) 提出書類

誓約書

その他必要な書類は入学手続時に案内します。

- (3) 納付金

入学金 282,000 円

注：上記の納付金は現行額であり、入学時に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

- (4) 入学手続上の注意事項

ア) 持参の場合の受付時間は、8 時 30 分から 17 時までです。ただし土・日曜及び祝日は受付を行っていません。

郵送の場合は必ず「書留速達」としてください。

- イ) 入学料は、本学所定の払込取扱票により郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。
ウ) 入学手続期限までに必ず「入学手続」又は「入学辞退の連絡」のどちらかを行ってください。

授業料について (参考)

前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

※金額は前期・後期とも予定額です。

※納入期限は、前期分が4月末日、後期分については10月末日です。

9 その他の諸経費について

本学では、大学生活を安心して過ごせるよう、学生教育研究災害傷害保険へ加入していただきます。詳細については、合格通知の際に別途説明します。

10 修学条件等

(1) 修業年限及び在学期間

本学の修業年限は4年間ですが、編入学生については、そのうち2年間で既に在学したものとし、第3年次に在学しているものとして取り扱います。

なお、入学後の在学可能期間は4年間となりますので、これを超えて在学することはできません。

(2) 既修得単位の取扱い

本学に編入学する前に出身大学等において修得した単位については、入学後に本学の定める基準により本学において修得したものと認定します。

既修得単位の認定は、出身大学等で修得した授業科目の内容・単位数を勘案して本学を卒業するために必要な単位数と授業科目等を定め、それに基づき認定します。

認定する単位数は、本学の卒業要件単位数124単位のうち半数の62単位を目処としますが、本学を卒業するために必要と定められた単位数により若干前後することがあります。

※入学前の既修得単位の認定に関する相談には応じられません。

11 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願時に提供いただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は、入学者選抜、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち、合格者のみ、入学後の教務関係(修学指導等)、学生支援関係(奨学金申請・授業料免除申請等)に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
なお、合格者には入学手続時に改めてお知らせします。

◎ 出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学 入試・教務課 入学試験係
Tel 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)
E-mail:nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各課程の紹介、大学の概要等が載っています。
アドレスは、次のとおりです。 <https://www.obihiro.ac.jp>

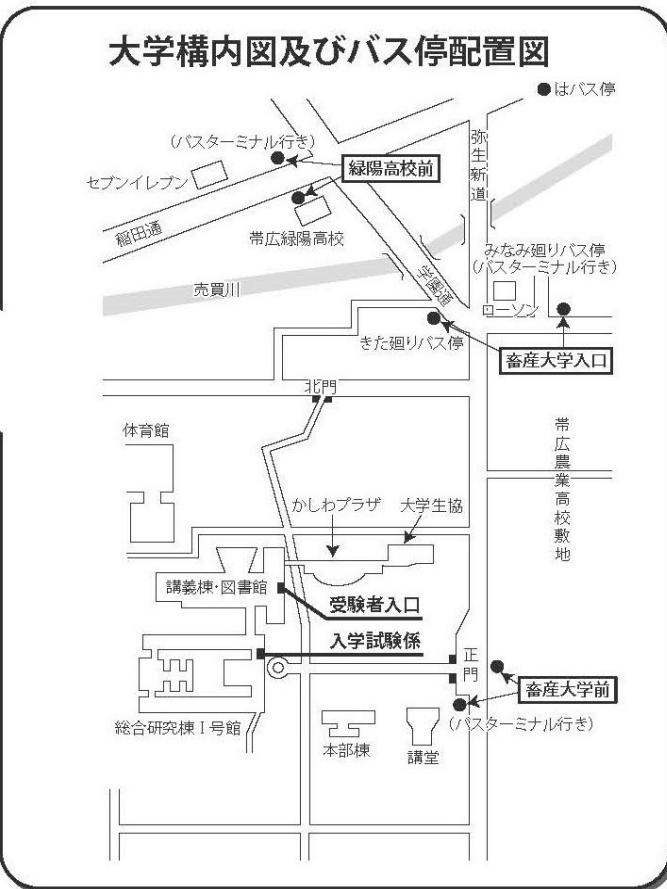
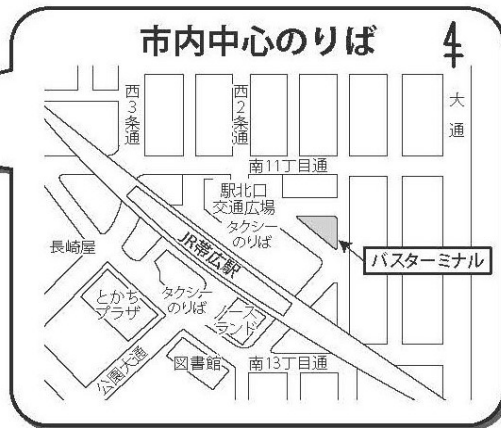
帯広畜産大学携帯電話サイトのご案内

資料請求方法などの各種情報を携帯電話で閲覧できます。
アドレスは、次のとおりです。 <https://daigakujc.jp/obihiro>
右のQRコードからも読み取れます。



○ 帯広畜産大学所在地及び交通案内図

帯広畜産大学 帯広市稲田町西2線11番地



交通案内

○ 帯広駅から本学まで

【十勝バス】：

- ① 帯広駅バスターミナル9番から大空団地線（系統番号70）に乗車，「緑陽高校前」で下車
（約30分，420円，1時間に2本）大学正門まで徒歩15分 ※土・日曜日及び祝日は1時間に1本
- ② 帯広駅バスターミナル11番から環状線きた廻り（系統番号28）に乗車，「畜産大学入口」で下車
（約30分，420円，1日4本）大学正門まで徒歩10分 ※土・日曜日及び祝日は運休
- ③ 帯広駅バスターミナル9番から畜大線（系統番号79）に乗車，「畜産大学前」で下車
（約35分，420円，1日2本） ※土・日曜日及び祝日は運休

【タクシー】：約20分，約2,000円（約7km）

○ とかち帯広空港から本学まで

【十勝バス】：空港～帯広駅前（約40分，1,000円）帯広駅から上記バスで本学まで

【タクシー】：約25分，約5,500円（約21km）